

第34期（令和2年度）事業計画書

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

平成31年度の当社の経営状況は、

前年は気象による欠航率も下がって輸送量、収入ともに回復していましたが、本年度は、3月頃から世界に蔓延した新型コロナウイルスの感染防止対策により、4月に移動制限が発出された影響で4月には前年比40%の減収となりました。

通年の影響度合いについては推測できない状況にあります。

経費につきましては、前年は新造船が就航した関係で船舶検査費用等が発生していませんでしたが本年度はこれに伴う費用が発生しますので増加が見込まれます。フェリー1隻での運航になっておりますが、必要不可欠な生活福祉航路として安全運航を徹底し、その運営に最大限の努力を傾注いたします。

第34期(2年度)予算

単位:千円

科目			2年度予算	備考	31年度決算
海運業収益	運賃収入	旅客運賃他	64,391	コロナの影響を前年比90%で見込む	71,545
海運業費用	運航費	燃料費	28,156	A重油65円で見込む	30,089
		代理店料含む港費	9,160		9,160
		その他運航費	4,145		3,148
	船費	船員費	43,758	当年4月分で見込む	42,450
		船用品費	1,264	前年はドックがなかった	362
		船舶修繕費	6,750	〃 〃	225
		船舶減価償却費	38,594		38,594
		その他船費	4,530		2,722
	海運業費用合計		136,357		126,750
	一般管理費	一般管理費	役員報酬	5,760	
人件費(業務委託費)			4,920		4,920
その他管理費			1,945		2,047
一般管理費合計		12,625		13,034	
営業損益			▲ 84,592		▲ 68,239
営業外	営業外収入		305		23,445
	営業外費用	支払利息	3,514	JRTT支払利息	3,486
経常損益			▲ 87,801		▲ 48,280
特別損益	特別損益	助成金収入	48,280	前年経常損失額計上	40,165
		引当金戻入			3,910
税引前当期損益			▲ 39,521		▲ 4,205